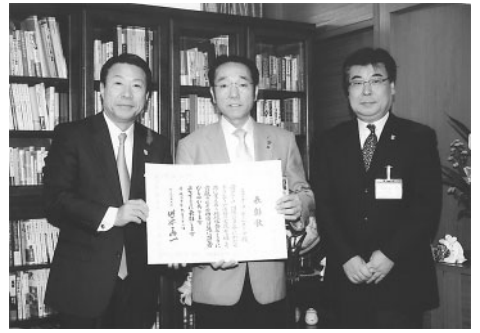




市長の ふれあい訪問



「ニューノーツ・オーケストラ」

昭和44年に市立川口高校吹奏楽部のOBで結成され、県内でも数少ないスタンダード・ジャズ専門のアマチュアバンド。各種団体と連携し、川口の音楽文化向上を図ることを目的に活動をしている「ニューノーツ・オーケストラ」を岡村市長が訪問。その活動内容などをお聞きしました。

市長 みなさんこんにちは。いよいよ2月、春が待ち遠しい季節となりました。今月の市長のふれあい訪問は、「ニューノーツ・オーケストラ」のみなさんです。どうぞよろしく願いいたします。

はじめに、バンドマスターの東海林さんにお聞きしますが、「ニューノーツ・オーケストラ」はいつ結成されたのですか。

東海林 市立川口高校のOBが集まり、昭和44年に結成しました。今年で40周年の節目を迎えます。

市長 尾熊さんは、入会されて何年になるのですか。

尾熊 発足当初からです。実は、正式に発足する2年前に、OB4人で「ニューノーツ・オーケストラ」の前身となるバンドを結成したのが、そもその始まりです。

市長 現在のメンバーは何人ですか。

阿久津 17人で活動しています。私も発足当初から参加しています。

市長 「ニューノーツ」とは、どんな意味なのですか。

加藤 「新しい音」を生み出すという意味を込めて名付けました。

市長 どのような活動をしているのですか。

石橋 月に2回、第1・3土曜日の夜に青少年会館で練習しています。

江原 曲はビッグバンドを中心に、カウントン・ペーシーなどのスタンダードなジャズを演奏しています。

市長 どんな所で演奏しているのですか。

東海林 毎月1回のペースで、高齢者施設や障害者施設へ行って演奏しています。

市長 いろいろな施設を訪問されて、印象に残るようなエピソードはありましたか。

阿久津 高齢者や障害者施設などの福祉施設へ行くことが多いのですが、車いすの方や寝たきりの方も多くいます。私たちが演奏すると、そのような方もリズムやテンポに合わせて、体を動かしながら聞いてもらえることが嬉しいですね。

加藤 演奏終了後に、入所者の方から、「良かった、また来てくださいね」と言われたときは、やっていて本当に良かったと思います。

市長 このほど、みなさんの日ごろの活動が認められ、厚生労働大臣表彰を受賞されましたね。

石橋 県内から2団体が表彰されましたが、音楽団体が、福祉に貢献したこと、大臣表彰を受けるというのは聞いたことが無かったので、大変嬉しく思っています。

市長 今年で40周年ということで、記念コンサートなどを行う予定はあるのですか。



江原 来月、3月1日に市民会館で、40周年記念コンサートを行います。

市長 市立川口高校の吹奏楽部という以前、ウィーンで開催された世界青少年音楽祭でグランプリを受賞しましたね。

阿久津 はい、昭和58年に受賞しました。グランプリを受賞した当時のメンバーも、私たちと違った形ではありますが、バンドを結成し、現在も活動しています。

市長 現役生徒との交流はありますか。

尾熊 世代が違うので直接交流はありませんが、機会があれば交流の場を設けたいと思っています。

市長 では最後に、これからの抱負などをお聞かせください。

東海林 音の出る限り活動を続け、一人でも多くの方にジャズの素晴らしさを聴いてもらえるよう、これからもがんばりたいと思っています。

市長 40年続いたバンドですので、50年、60年と、音の出る限りがんばって活動を続けていってほしいと思います。今日はありがとうございました。

